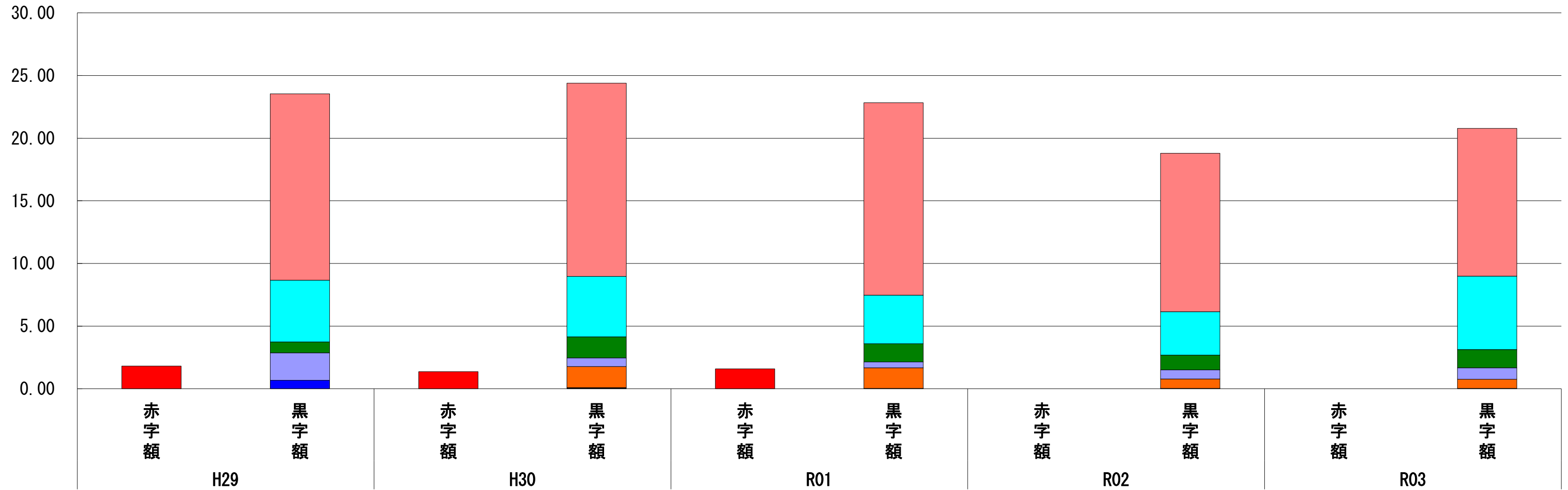


(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析 (市町村)

令和3年度

岡山県笠岡市

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

会計	年度	H29	H30	R01	R02	R03
笠岡市水道事業会計		14.87	15.43	15.37	12.65	11.79
一般会計		4.93	4.81	3.86	3.45	5.85
笠岡市介護保険事業特別会計		0.87	1.68	1.46	1.18	1.47
笠岡市国民健康保険事業特別会計		2.19	0.70	0.46	0.73	0.91
笠岡市下水道事業会計		-	1.68	1.66	0.75	0.74
笠岡市後期高齢者医療特別会計		0.00	0.02	0.00	0.01	0.02
笠岡市国民健康保険真鍋島直営診療施設特別会計		0.00	0.00	0.01	0.02	0.00
笠岡市へき地診療施設特別会計		0.00	0.01	0.01	0.00	0.00
その他会計 (赤字)		▲ 1.81	▲ 1.36	▲ 1.58	-	-
その他会計 (黒字)		0.67	0.06	0.00	0.00	0.00

分析欄

令和3年度においては、標準財政規模が令和2年度と比較して4.7%増加したことで、水道事業等で比率の減少もみられるものの、全体としては黒字額は前年度より増加している。

主な要因は、一般会計において単年度収支の黒字額が大きかったことによるものである。

なお、病院事業会計においては平成29年度から令和元年度まで赤字となっていたが、令和2年度に、新型コロナウイルス感染症に係る減収の補てんのために特別減収対策企業債を借り入れたことや、医業収益が増加傾向となったことなどから、資金不足が解消され、令和3年度についても医業収益等が増加したことなどにより、資金不足は生じていない。

※令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。